

受理年月日	平成27年11月13日	所管委員会	第1委員会
番 号	27年 陳 情 第 14 号		
件 名	沖縄の米軍普天間飛行場代替施設建設の早期実現、沖縄米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める意見書議決について		
陳 情 者	沖縄県名護市辺野古 932-26 名護市議会議員 宮城 安秀 外 10人		
分割送付	なし		
要 旨	<p>我が辺野古区は、区的环境整備、オスプレイ着陸帯の移設等を条件にこれまで普天間飛行場の辺野古地先への移設について容認し、協力してきた。しかし、稲嶺市長、翁長知事の就任により、あたかもオール沖縄県民全てが辺野古地先への移設に反対しているかのようなゆがんだ報道が先行し、地元である私たち辺野古区民の民意が伝えられていない状況にある。また、移設反対派の過剰とも思える行動に、区民の平穏な生活は脅かされ不安は高まるばかりであるが、前仲井眞知事の埋め立て承認により、移設工事を着実に進めていくことがより重要である。</p> <p>また、在日米軍専用施設の74%が沖縄に集中しており、基地の整理縮小を全国の自治体で議論していただきたい。</p> <p>よって、以下の事項について、国に対し意見書を提出するよう陳情します。</p> <p>1. 普天間飛行場代替施設建設の早期実現、沖縄米軍基地の整理縮小及び負担軽減をすること。</p>		

福岡市

議会議長 様

沖縄の米軍普天間飛行場の代替施設建設の早期実現、沖縄米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める意見書の採択にご協力をお願い致します。

拝啓、晩秋の候、貴議会におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。私は沖縄県名護市辺野古出身の名護市議会議員宮城安秀と申します。米軍普天間飛行場の辺野古地先への移設に関し辺野古区民の思いを御理解して頂きたく陳情書、意見書を送付いたします。本来直接訪問し説明すべきですが、郵送での対応誠に申し訳ございません。不作法とは存じますがご検討のほど宜しくお願いします。

敬具

<送付物一覧>

- 1 送り状 (本書)
- 2 意見書採択を求める陳情
- 3 意見書 (案)
「沖縄の米軍普天間飛行場の代替施設建設の早期実現、沖縄米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める意見書」
- 4 関連資料
 - 1 沖縄県の基地の現状
 - 2 現在の普天間飛行場
 - 3 辺野古区位置図
 - 4 名護市街地と辺野古区地先
 - 5 沖縄工業専門学校裏のヘリパット
 - 6 移設されるヘリパット等を含む代替飛行場施設の配置計画図
 - 7 反対派の集会への出発時刻、シュワープゲート前の様子を伝える地元マスコミ 参考 (沖縄2紙の偏向報道と世論操作) ネットで検索
 - 8 辺野古区長から市議会への要請
 - 9 辺野古区商工社工業組合から区長への陳情
 - 10 久辺3区新交付金及び官房長官発言

名護市議会議員

陳情者代表 宮城 安秀

岸本 直也

宮城 弘子

長山 隆

宮城 さゆり

宮里 尚

比嘉 忍

渡具知 武豊

比嘉 拓也

吉元 義彦

金城 隆



沖縄の米軍普天間飛行場代替施設建設の早期実現、沖縄米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める意見書の採択を求める陳情

{陳情の要旨}

- 1 普天間飛行場を辺野古地先へ移設することは現在市街地にある普天間飛行場の危険性の除去が原点である。
- 2 平成9年12月、元比嘉市長が移設容認表明、以後元岸本市長、前島袋市長と三代にわたり、更に元稲嶺県知事や前仲井眞県知事に於いても移設について国と協議し、合意してきた経緯がある。
- 3 地元辺野古区をはじめ隣接する豊原区、久志区においては、条件付きで政府と協議中である。しかし県内マスコミは、移設に反対する立場の一部区民の声を報道し、地元辺野古区民の民意が伝わらない状況にある。
- 4 沖縄工業高専背後地に位置するオスプレイ等の着陸帯（ヘリパッド）を海岸側に建設される代替施設へ移設する事により騒音及び危険性が軽減される。
- 5 今なお、全国の在日米軍専用施設の73.7%が沖縄に集中しており基地の整理縮小を全国の自治体で検討していただきたい。

{陳情の理由}

我が辺野古区は、区的环境整備、オスプレイ着陸帯の移設等を条件にこれまで普天間飛行場の辺野古地先への移設について容認し、協力してきた。しかし、稲嶺市長、翁長知事の就任によりあたかもオール沖縄県民すべてが辺野古地先への移設に反対しているかのような歪んだ報道が先行し地元である私達辺野古区民の民意が伝えられてない状況にある。又、移設反対派の過剰とも思える行動に、区民の平穏な生活は脅かされ不安は高まるばかりであるが、前仲井眞知事の埋め立て承認により移設工事を着実に進めていくことがより重要である。又、在日米軍専用施設の74%が沖縄に集中しており基地の整理縮小を全国の自治体で議論していただきたい。よって普天間飛行場代替施設建設の早期実現、沖縄米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める意見書の採択を求める。

平成27年11月6日 名護市議会議員 宮城 安秀

住所：沖縄県名護市辺野古932-26

連絡先：

沖縄の米軍普天間飛行場代替施設の早期実現、沖縄米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める意見書(案)

2013年12月27日仲井眞沖縄県前知事は代替施設建設に係る公有水面埋め立て申請を承認した。普天間飛行場の移設は、市街地の中心にある普天間飛行場の危険性を除去するということが原点にあり、政府、沖縄県、名護市をはじめ代替施設に隣接する辺野古区、豊原区、久志区では移設に向け条件付きで進めてきた経緯がある。特に地元3区の居住区に隣接しているオスプレー等の着陸帯を海岸側に建設される代替施設に移すことを地元の条件としている。

現在、安倍政権により米軍普天間飛行場の辺野古移設への取り組みは強化され、辺野古区、豊原区、久志区はこれまで通り防衛局をはじめ関係機関と条件整備に向け協議中である。

翁長沖縄県知事の就任により沖縄マスコミ2紙をはじめとする報道は、オール沖縄という表現で移設に反対をする声、集会を掲載し、あたかも沖縄県民のすべてが移設に反対しているかのような報道ぶり、公正中立な報道を行うよう抗議のデモも起きている。

キャンプシュワブゲート前では、違法テントが張られゲートに侵入する車両を妨害するなどの行動により国道を利用する通勤者に迷惑をかけ辺野古区民の感情も限界に達し名護市、名護警察へ取り締まり強化に向けての陳情書が提出されている。

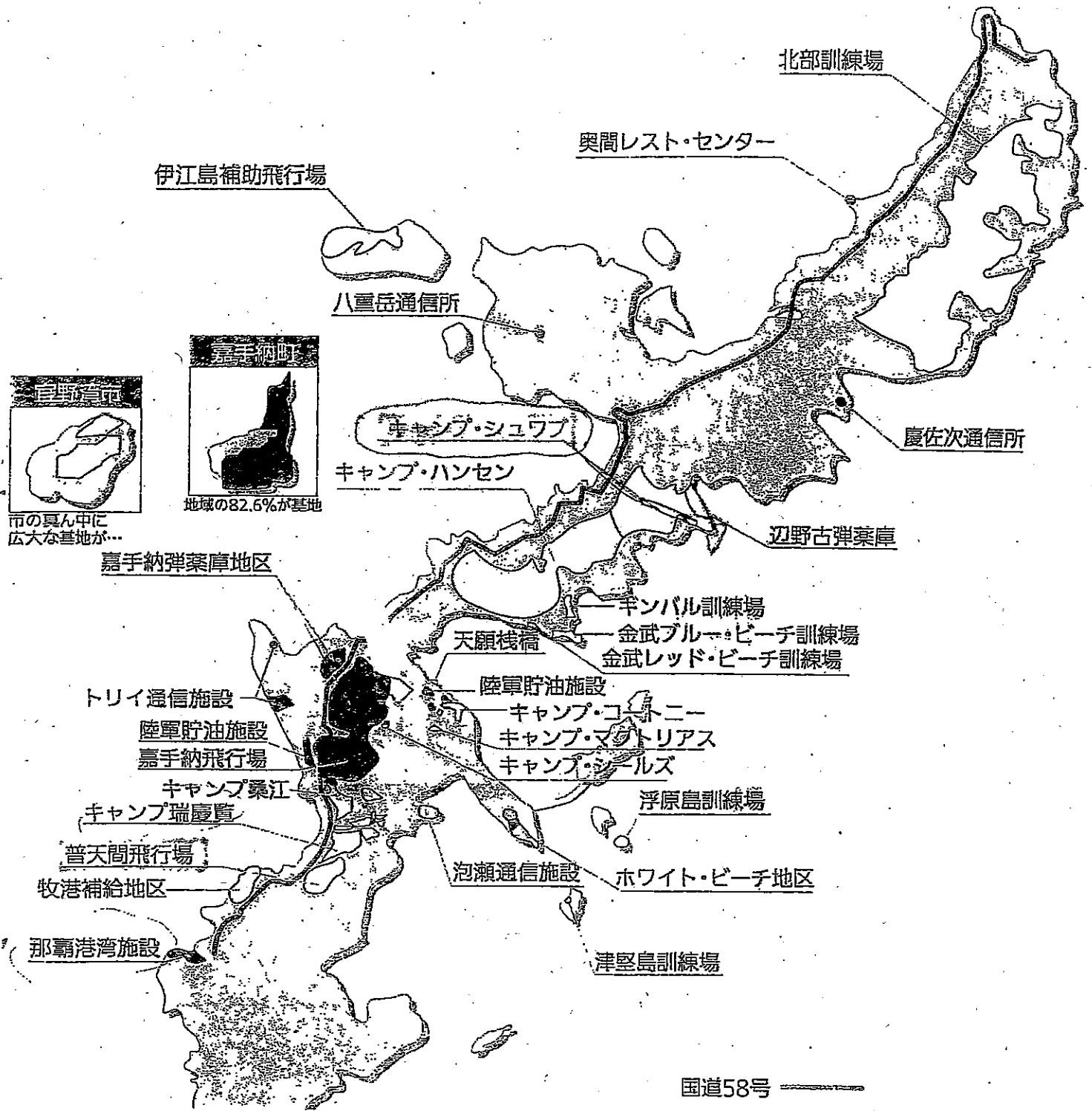
平成11年10月12日の沖縄県議会で普天間飛行場の早期県内移設に関する要請決議の提案者であった翁長現知事は仲井眞前知事の公有埋め立て承認を取り消すと表明し、国との対立が決定的となった。翁長知事は対案もなく、普天間飛行場の撤去を求めており現実的ではないと解する。

そもそも普天間飛行場の辺野古への移設は、市街地の中心にある普天間飛行場の危険性の除去が原点であり現状を放置することはあってはならない。

全県民の願いである基地の整理縮小、嘉手納以南の約1000haの返還及び普天間移設に於いては、現在の480haの普天間基地が、代替施設埋め立て部分面積が160haに縮小され、空中給油機が岩国に移転される。又現在普天間基地で運用されている24基中12基のオスプレーの県外訓練が進められる等、基地の整理縮小や負担軽減に向けた取り組みが進められている。しかし在日米軍専用施設の74%が今なお沖縄に集中している現実を鑑み沖縄米軍基地のさらなる整理縮小を全国の自治体が真剣に検討すべきである。

よって〇〇市議会は沖縄の米軍普天間飛行場代替施設の早期実現、沖縄米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

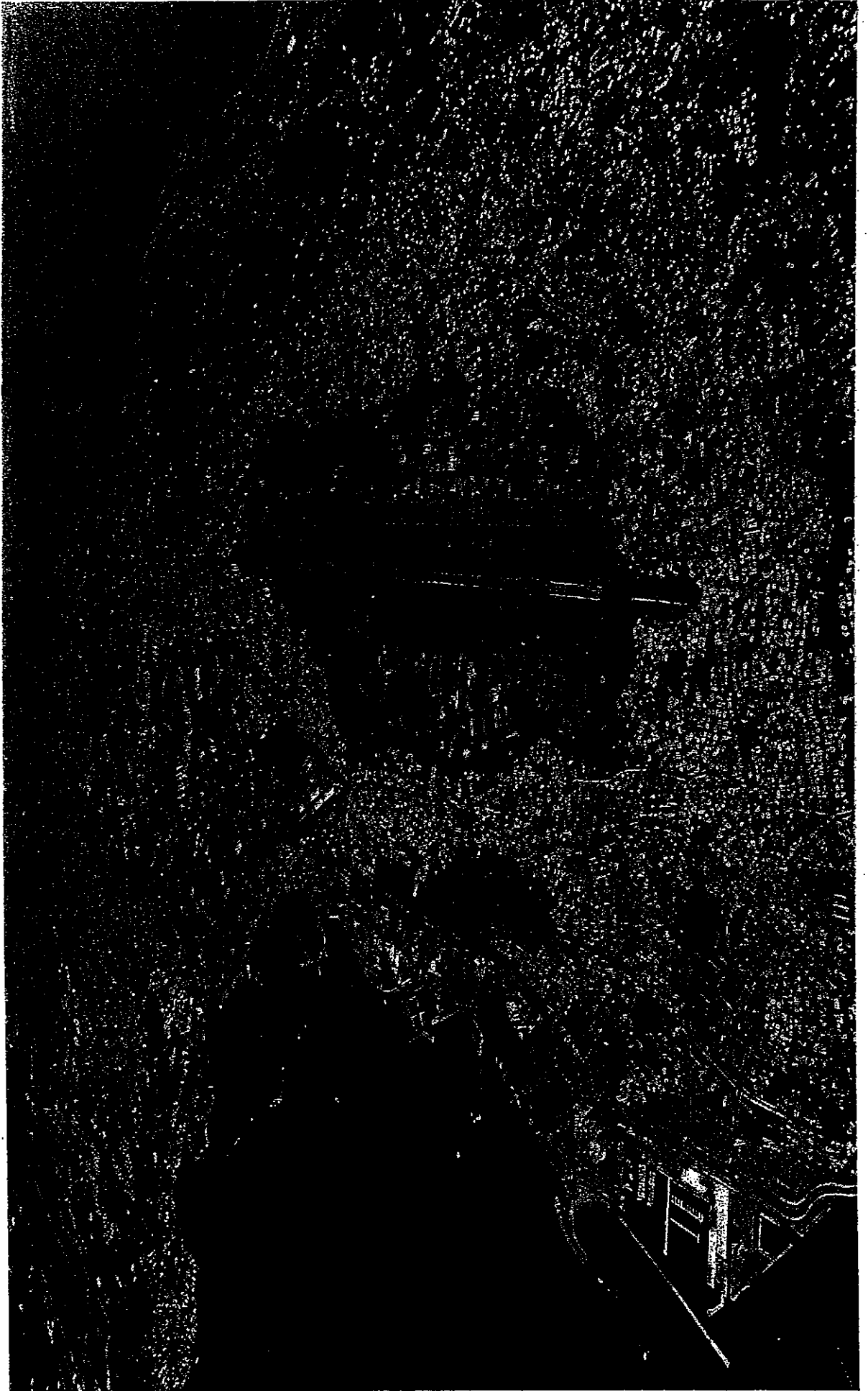


沖縄県の 基地の現状

- 国道58号
- 米軍基地
 - 陸軍
 - 海軍
 - 海兵隊
 - 空軍
- 提供水域

普天間飛行場の移設・返還

現在の普天間飛行場（宜野湾市）



(※)当該地図は著作権法上の規定により、掲載
していません。

沖縄の普天間基地の移設先として、名護市辺野古が日米間で決定しているが、この名護市辺野古という地域がどのような地域であるのか、名護市は基地移設反対派の市長が当選し、地元が反対している！とのニュアンスが強いが、実際、辺野古地区としては、受け入れを容認されています。

本土で沖縄の地理感覚がない方からすると、ひとつの市町村内で反対が行われているように感じとられるのだが、実際の辺野古とはどこにあるのか？

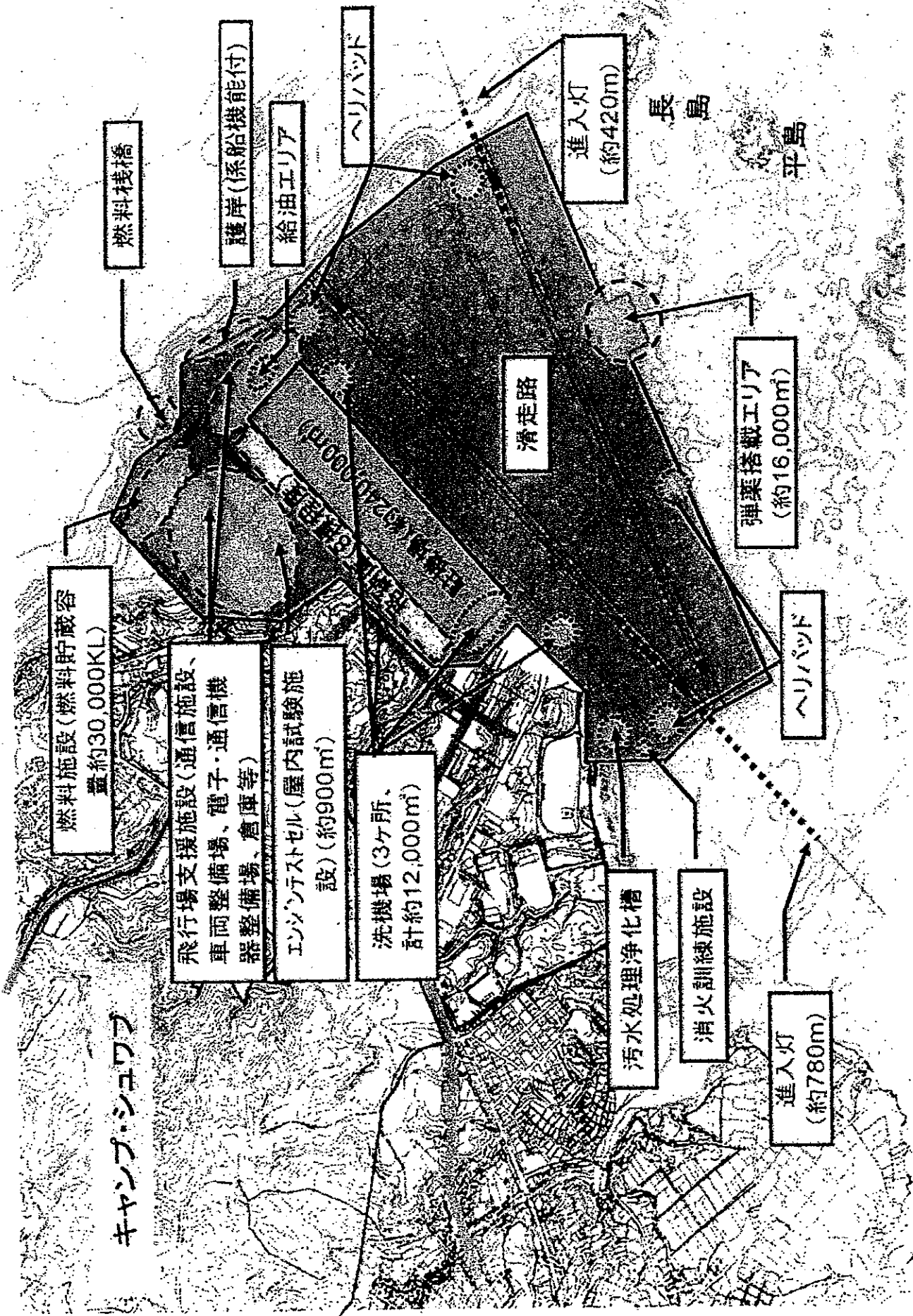
Google の地図からですが、このような地理関係になっています。

(※)当該地図は著作権法上の規定により、掲載していません。

また、名護市の市街地からは山を隔てた向こう側なので、大半の人が住む市街地の方は正直なところ、あまり実感が無い場所だろうと思います。

(※)当該地図は著作権法上の規定により、掲載
していません。

飛行場施設の配置計画



燃料施設 (燃料貯蔵容
量約30,000KL)

飛行場支援施設 (通信施設、
車両整備場、電子・通信機
器整備場、倉庫等)

エンジンテストセル (屋内試験施
設) (約9000m²)

洗機場 (3ヶ所、
計約12,000m²)

汚水処理浄化槽

消火訓練施設

進入灯
(約780m)

ヘリパッド

弾薬搭載エリア
(約16,000m²)

滑走路

進入灯
(約420m)

給油エリア

護岸 (係船機能付)

燃料棧橋

ヘリパッド

長島

平島

キャンプ・シユワフ

(※) 当該資料は著作権法上の規定により、掲載
していません。

平成27年2月27日

名護市長
稲嶺 進 殿

名護市辺野古区長

要 請 書

キャンプシュワープゲート前構築物等の撤去、違法駐車取締りについて

貴職におかれましては、日夜市政運営にご尽力を賜り衷心より感謝申し上げます。

さて、私たち辺野古区は、「区民の安全・安心な生活を守り住みよい街づくり」を目指し日々邁進しているところですが、昨年の暮れからキャンプシュワープゲート前で新基地に反対する団体の異常とも思える反対運動に区民の生活が脅かされ、区民から多数の苦情が寄せられています。

今後、このような状態が続くと、区民と反対運動団体との対立が懸念されることから早めの対策が求められています。

つきましては、ゲート前の違法構築物等の撤去と違法駐車取締りを徹底させ、区民が平常な生活に戻れるよう特段のご配慮をお願い申し上げます。

尚、区民からの苦情文も一部添えて提出させていただきます。



お仕事お疲れ様です。

今回、意見書を書いたのは、キャンプシュワープ前の方について、反対をしていただくのは構わないのですが、歩道に車を止め、歩行の妨げになっているにもかかわらず、夜は、車道にでて、交通の妨げになっており、自宅を目の前に、「58号線周りしてください」と機動隊の方に支持をされました。

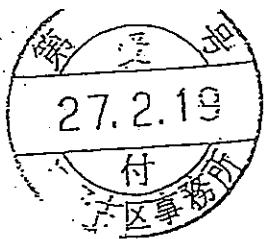
機動隊の人曰く「車道に出ている人がいて、危ないので、なるべく車を通さないようにと指示があった」と言われました。

これを黙っていていいのでしょうか？

個人の意見では、どうする事もできず、区長さん（行政委員）からお声を上げていただきたく、よろしく願いいたします。

また、意見書はこれまでもあがっていると思いますが、回答はどこでいただけるのでしょうか？どのような意見がでているのか？お聞かせいただきたく思います。

どうぞ宜しくお願い致します。




陳情書

辺野古区
区長  様

要旨

- 1, 辺野古アップルタウン入口の国道 329 号線緑地帯の違法駐車について
- 2, 米軍基地出入り口フェンス沿いの反対派集団の歩道不法占拠について

辺野古区  組合
会

拝啓 辺野古区及び行政委員会に於いては、日頃から辺野古区の福祉増進及、区民サービスの向上及び当商工社工業組合の発展にご尽力され、組合員並びに区民の一員として誠に感謝に堪えない次第であります。

さて、私ども辺野古商工社交業組合では、リーマンショック以来の円高ドル安さらには、米兵不祥事に対する米兵の夜間外出禁止等による経営悪化が続き年々減少する中で残された事業所が細々と商いを営んでおりましたが、今日においては円高ドル安も解消（一ドル＝120円）され、さらに米軍人の外出禁止制限も解禁され、これからは商売もなんとか持ち直しが図るのではとの時期に、普天間代替施設先の辺野古周辺は反対派集団による無秩序な違法駐車や違法占拠の異常とも思える反対運動に、基地内の兵隊は、夜間はもとより昼間の外出も出来ない状態に陥っています。

私達、商工社交業組合の力だけではどうすることも出来ません、よって区長はじめ行政委員会の皆さんで良い手立ては無いものか何卒、御尽力をお願い申し上げ、私達辺野古区商工会の陳情とさせていただきます。最後に辺野古区、行政委員会のますますのご活躍を祈念致します。

敬具

平成 27 年 2 月 18 日

稲嶺市長 様

市政運営の基本方針を拝見させて頂きました。

その中に、「安全・安心なまち」が掲げられており、市民の安全・安心の確保を図るとあります。名護市民が、日常を安全に安心して暮らせるまちを目指しているものと思います。

市長が新たな基地はいらないというのも、安全・安心のまちづくりが根底にあっての発言だと思っています。また、基地に対しての考え方についても一人ひとりの思いがあり、どういう形で表現するかについても自由だと思っています。しかし、その表現方法が一般市民の生活に悪影響をもたらしている現実をご存じでしょうか。

私の娘はジュワブ内で仕事をしています。娘の話では同僚（女性）が出勤時朝7時頃ゲート入口で反対活動の人たちに囲まれたそうです。なにかしら大声を発していたそうですが、恐怖から何を言われたのか分からなかったそうです。ただただ車からはなれるのを待ったそうです。数分の出来事かもしれませんが、その女性の恐怖を想像してください。私の娘はまだそういう状況に遭遇していませんが、「次は娘が取り囲まれけがをするのでは。」と不安ばかりが募り怒りを感じています。また、基地に入るだけで、「殺人者」と罵声を浴びせられます。もちろん毎日がそういう状況ではありませんが、気が気ではありません。私は辺野古から名護市内の職場に通勤していますが、辺野古基地ゲートまえでの抗議活動のあり方にも問題があります。車道を占拠して交通を妨害したり、車道の中央線で座り込んだり寝たりと目に余るものがあります。先月50分余車道が完全ストップしました。もし事故を起こしたら運転手に責任が及びます。こういう形での抗議活動を市長はどうお思いでしょうか。はたして市政運営に掲げる安心・安全に暮らせるまちでしょうか。

反対の方たちの行動は正義のようにもてはやされていますが、現実、一般市民の生活に恐怖と迷惑を与えている行動について議論されない現状に憤りを感じています。市長としての立場で、こういう現状についてどう考えているのか。そしてどう対処していくのか。回答して頂きたいと思います。

1月23日 金曜日午前11時頃

母は心臓の持病があり月一度の定期検診と薬の処方に名護の病院に予約日となっておりましたので、午前11時ごろキャンプシュワープゲート前に来たら30分以上車をストップさせられました。

病院の予約時間に間に合わなくてその日は定期検診もできず、薬の処方も出来ませんでした。

心臓なので薬がないと命にかかわります。

仕事帰り名護から辺野古自宅7班 帰りの出来事です。深夜2時頃ゲート前にて車を止められて「ゲート前は通行出来ませんので迂回して下さい」と言われました。

「辺野古へいく道はこの道しかないですよ」と言う。「鴻原(かたぼる)廻りをして下さい」といわれました。強行突破しようと思ったのですが、道路に反対派の人たちが座ったり・寝転がったりしているので強行突破もできず鴻原廻りをして自宅に帰りました。

仕事が深夜に終わり疲れてやっと家路に着くなどおもったら迂回して下さいと言われ、余計つかれました。

娘が弁当屋さんをしています。シュワープの工事現場から弁当の注文がありシュワープへ配達に行くとゲートで反対派の人に車をどンドン叩かれ「あんた達こんなことして恥ずかしくないのか」と言われました。反対派の人たちは娘の弁当屋に嫌がらせして営業妨害です。

娘の仕事場は、名護市内です。仕事の終わる時間が午後11時です。ゲート前で午後11時30分頃数名の男の人たちに人間くさりをして車を止められました。娘は犬変びつくりして心臓がとまりそうだったと家に帰って話していましたが、私は母親として自分の娘が男数名に夜夜中車を囲まれた聞いた時 怒りで身体の震えが一晩中止まりませんでした。翌日の朝名護警察署へ電話で訴えましたが、今も尚そのような事が続いているそうですね、反対派の皆さんに言いたいです、もし自分の娘がわたしの娘と同様、夜夜中に男数名に車を止められたらどう思いますか!!

チルドレンデー

12月6日(土)午前10時ゲート前での出来事

ゲート前でFさんに胸の洋服をつかまれて「何しに来た なんできた」と言われました

私は「毎年の行事できました」と言ったら F子さんは 私は見ているよ 見ているよ と言っていました

私はF子さんに胸の洋服をつかまれていたのでF子さんの手を払いのけようとするのですが

F子さんの手力は80歳のおばあちゃんの手力だとは思えないほど強く

私は払いのける事が出来ず横歩きでその場から少し移動しました

F子さんの後ろに反対派の人がたくさんいて 私が横に移動するとF子さんの後ろに反対派の人も移動して来て とても怖かったです

子供達は反対派の人達からやじを言われ 怖かったと思います。

場所 キャンプシェラ一部基地ゲート前での子供達に向かったの暴言

ここはお前達の来る所ではない 帰れ

アメリカのアメに騙されるな 帰れ

お母さんたち 子供達を兵隊にするつもりかここは人を殺すところだよ帰れ

此処はせんそうする所 人を殺す所だよ帰れ

なんでこんな時期につれてくるか つれて帰れ

以上の暴言を繰り返し数名の反対派が暴言していました。

子供参加者 : 100名程

引率者 : 指導委員 教育隣組長 保護者(お母さん) 約30名程

(※) 当該資料は著作権法上の規定により、掲載
していません。